

東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育 なう No.10

2020年11月発行
恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL 0573-26-1111〈内線 209〉
FAX 0573-25-7129
MAIL okumura-tamiko@pref.gifu.lg.jp

体験やふれあいを大切にした家庭教育学級を紹介します。

家庭教育「なう」は、恵那県事務所の HP からご覧いただくことができます。 QR コード →

家庭教育学級の紹介

中津川市 誠和幼稚園 体験活動参加型＋在宅取組型
「キッズセーフティ」 ～大事な命を守るために～

日 時 令和2年10月13日（火） 12:30～14:30
講 師 JAF 岐阜支部の大嶽さん 中津川警察署交通課の若松さん
参加者 年長児親子44組 中津川市防災課4名

体験を通してチャイルドシート・シートベルトの大切さを親子で学ぶキッズセーフティ

誠和幼稚園では、年長児の親子が、チャイルドシートとシートベルトの大切さを DVD で学び、シートベルトコンビンサー（シートベルト着用効果体験車）に乗車して、衝突体験を行いました。衝突体験は、時速5㎞での衝突を体験しましたが、予想以上の衝撃に、子ども達は、「足がふわっとなってびっくりした。」と驚き、保護者も子ども達も、チャイルドシートとシートベルトの大切さを実感しました。学んだことは、これからの交通安全に活かしていきます。

内 容

キッズセーフティ事業は、岐阜県と日本自動車連盟岐阜支部が運営する、シートベルトコンビンサー（シートベルト着用効果体験車）を活用した参加・体験・実践型の交通安全教室です。幼児と保護者に、チャイルドシートとシートベルトの重要性を学んでもらい、家庭内の意識向上を図ることを目的としています。

①親子でDVDを見て、シートベルトの大切さを学ぶ。
②シートベルトコンビンサーに親子で乗車して衝突体験
③中津川警察署の若松さんから、後部座席の人もシートベルトをすることの重要性についてのお話
・後ろの席の人もしていないと、車内でぶつかったり、車外へ放り出されたりすることがある。
④JAFの大嶽さんから、チャイルドシートの固定の仕方についてのお話
・子どもの安全は、あなたの手の中。大人が守ってやることしかできない。
・チャイルドシートを締め直して固定するのが、お父さんお母さんの仕事。



DVDでシートベルトの大切さを学びました。



JAFの大嶽さんからチャイルドシートの着け方を教えていただきました。



衝突体験をしました。



衝突の瞬間、エアバッグが出て、びっくりしました。

【このよさを学びたい！】

・幼稚園の先生が、「みんなの大事な命を守るためにお話を聞きます。」と話された後、DVD、衝突体験、講話と続きました。目的と内容がよく分かり、子ども達が、お母さんと一緒に、最後まで真剣に取り組むことができたこと。
・「子どもの安全は、あなたの手の中。大人が守ってやることしかできない。」というJAFの大嶽さんの言葉に、参加している保護者の方も真剣に耳を傾けていました。
・幼稚園でキッズセーフティを行うことで、親子の交通安全への意識が高まり、これからの生活に活かされること。

恵那市立中野方小学校　体験活動参加型
「あすチャレ!School」車いす陸上プログラム

日　時　令和2年10月27日（火）9:35～11:05
場　所　中野方小学校　体育館
参加者　全校児童　保護者15名　恵那市社会福祉協議会5名
講　師　車いす陸上選手アテネパラリンピック 4×400m（T53/54 クラス）銅メダリスト
　　パラリンピック7回出場　　永尾　嘉章　さん
主催：日本財団パラリンピックサポートセンター　協賛：JAL

車いす陸上の体験と講話から、あきらめずに挑戦する勇気を学ぶ家庭教育学級

中野方小学校では、今年度、恵那市障がい者理解教育推進校の指定を受け、障がい者理解教育を進めています。その一環として、家庭教育学級で「※あすチャレ!School」を開催しました。学校 HP に「新型コロナウイルス感染症に対応した実施ガイドライン」と「協力項目チェックリスト」を掲載し、保護者には、無理のない範囲での参加をお願いしました。体験と講話を通して、障がいについて考え、夢や目標に向かって、あきらめずに挑戦する勇気について学ぶことができました。

※日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する「あすチャレ!School（スクール）」は、小・中・高等学校向けのパラアスリートから学ぶパラスポーツ体験型出前授業です。スポーツを通じ共生社会への気づきや学びの機会を提供する「あすチャレ!（明日へのチャレンジ）」プログラムの一つです。

内　容
- 永尾さんによるパラ陸上競技の紹介と競技のデモンストレーション
- 児童代表によるレーサー体験
- 全校児童と教職員参加による車いすリレー
- 永尾さんによる講話
  - 人それぞれできることとできないことがある。
  - 障がいがあるということはどういうことなのか。
  - 一番大事なことは、あきらめないこと。
  - 頑張ったら宝物ができる。

児童の感想から
- つらいことがあっても、あきらめないでパラリンピックに出たことがすごかったです。
- いろいろなことを学んで、がんばっている姿は、すごいと思いました。
- 車いすに乗って、楽しかったです。
- 初めての体験で、とても楽しかったです。つらいことがあってもがんばっていきたいです。何でもチャレンジしてみたいと思いました。



間隔を取って話を聞きました。



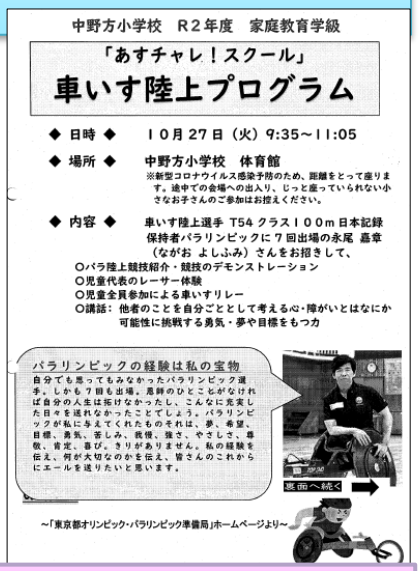
永尾さんによる競技用車いすのデモンストレーション



児童代表のレーサー体験



全校児童と教職員参加の車いすリレー



中野方小学校　R2年度　家庭教育学級
「あすチャレ！スクール」
車いす陸上プログラム

◆ 日時 ◆　10月27日（火）9:35～11:05
◆ 場所 ◆　中野方小学校　体育館
※新型コロナウイルス感染予防のため、距離をとって座ります。途中での会場への出入り、じっと座っていられない小さなお子さんのご参加はお控えください。
◆ 内容 ◆　車いす陸上選手 T54 クラス100m 日本記録保持者パラリンピック7回出場の永尾 嘉章（ながお よしふみ）さんをお招きして、
- ○パラ陸上競技紹介・競技のデモンストレーション
- ○児童代表のレーサー体験
- ○児童全員参加による車いすリレー
- ○講話：他者のことを自分ごととして考える心・障がいとはなにか 可能性に挑戦する勇気・夢や目標をもつ力

パラリンピックの経験は私の宝物
自分でも思ってもみなかったパラリンピック選手。しかも7回も出場。思いのひとこともがなければ自分の人生は拓けなかったし、こんなに充実した日々を送れなかったことでしょう。パラリンピックが私に与えてくれたものそれは、夢、希望、目標、勇気、苦しみ、挑戦、強さ、やさしさ、尊敬、肯定、喜び。きりがありません。私の経験を伝え、何が大切なのかを伝え、皆さんのこれからにエールを送りたいと思います。

裏面へ続く

～「東京都オリンピック・パラリンピック準備局」ホームページより～

【このよさを学びたい！】
- コロナ禍での実施にあたり、事前に家庭教育委員会で十分検討し、ガイドラインの呼びかけと、じっと座っていられない小さなお子さんの参加を控えることをチラシに掲載して、感染防止対策に配慮したこと。
- 体験と講話から、障がいについて学び、他者のことを自分ごととして考え、夢や目標をもってあきらめずに挑戦することの大切さに気づくことができ、これからの生活に活かされること。

恵那市立明智小学校　在宅取組型
家族でやろう「ハグ＆ハイタッチ」

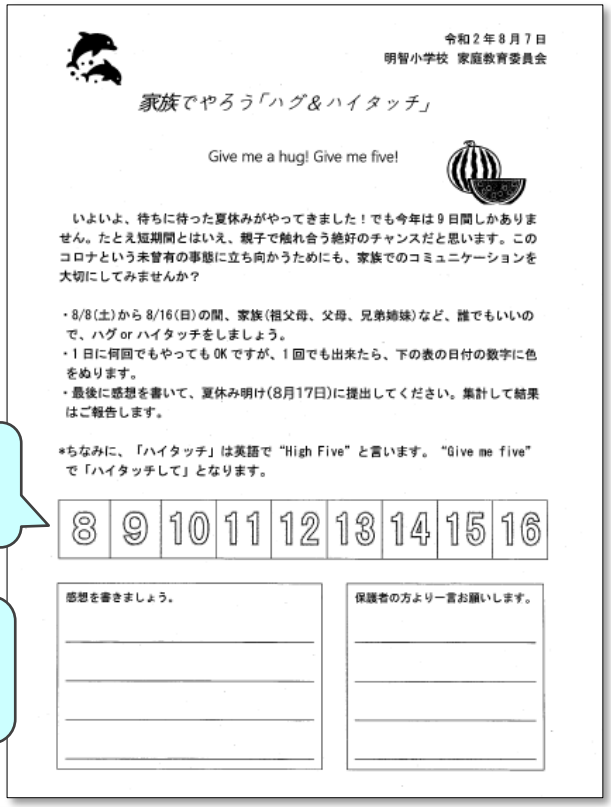
取組期間　令和2年8月8日（土）～8月16日（日）
参 加 者　全校児童親子

ハグとハイタッチを通して家族のコミュニケーションを大切にする在宅取組型家庭教育学級

明智小学校では、親子のスキンシップが少なくなってきていることから、夏休み中に「ハグをしよう」と呼びかけて、家族のコミュニケーションを大切にしてきました。高学年になると、ハグをいやがる子がいるという意見があり、昨年度から「ハイタッチ」も入れて、「ハグ＆ハイタッチ」に取り組んでいます。今年度は、9日間の夏休み中、毎日できたという子が全校の74%でした。短い期間でしたが、家族のコミュニケーションがたくさんとれた夏休みになり、2学期の元気な登校につながっています。

内 容

・案内文書と取組表が一緒になったプリントを配りました。
・祖父母、父母、兄弟姉妹など、家族の誰でもいいので、ハグ＆ハイタッチをします。
・1日に何回でもOKです。
・負担なく取り組むことができるように、出来たら、日付の数字に色を塗っていくようにしました。



令和2年8月7日
明智小学校　家庭教育委員会

家族でやろう「ハグ＆ハイタッチ」

Give me a hug! Give me five!

いよいよ、待ちに待った夏休みがやってきました！でも今年は9日間しかありません。たとえ短期間とはいえ、親子で触れ合う絶好のチャンスだと思います。このコロナという未曾有の事態に立ち向かうためにも、家族でのコミュニケーションを大切にしてみませんか？

・8/8(土)から8/16(日)の間、家族(祖父母、父母、兄弟姉妹)など、誰でもいいので、ハグ or ハイタッチをしましょう。
・1日に何回でもやっても OK ですが、1回でも出来たら、下の表の日付の数字に色をぬります。
・最後に感想を書いて、夏休み明け(8月17日)に提出してください。集計して結果はご報告します。

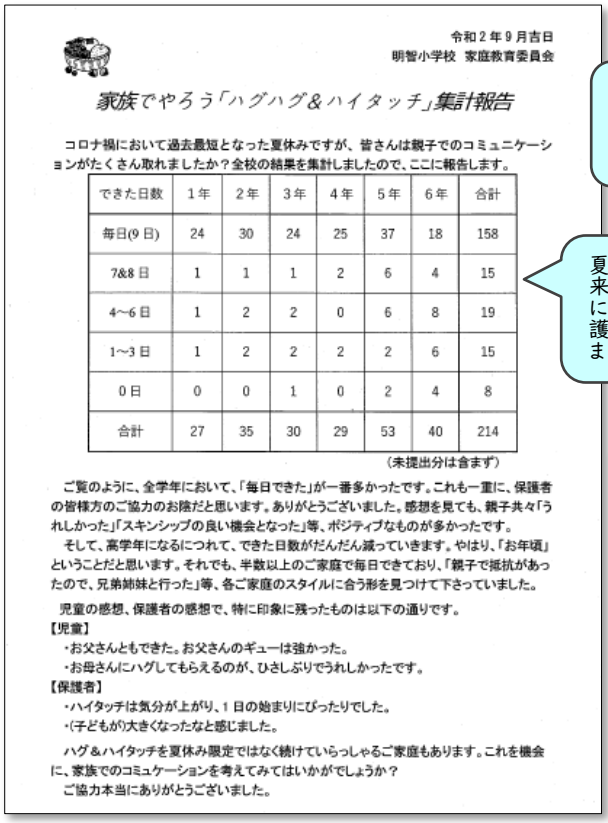
*ちなみに、「ハイタッチ」は英語で "High Five" と言います。 "Give me five" で「ハイタッチして」となります。

8	9	10	11	12	13	14	15	16

感想を書きましょう。

保護者の方より一言お願いします。

出来た日は、日付の数字に色を塗ります。



令和2年9月吉日
明智小学校　家庭教育委員会

家族でやろう「ハグハグ＆ハイタッチ」集計報告

コロナ禍において過去最短となった夏休みですが、皆さんは親子でのコミュニケーションがたくさん取れましたか？全校の結果を集計しましたので、ここに報告します。

できた日数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
毎日(9日)	24	30	24	25	37	18	158
7&8日	1	1	1	2	6	4	15
4～6日	1	2	2	0	6	8	19
1～3日	1	2	2	2	2	6	15
0日	0	0	1	0	2	4	8
合計	27	35	30	29	53	40	214

（未提出分は含まず）

ご覧のように、全学年において、「毎日できた」が一番多かったです。これも一重に、保護者の皆様方のご協力のお陰だと思います。ありがとうございました。感想を見ても、親子共々「うれしかった」「スキンシップの良い機会となった」等、ポジティブなものが多かったです。
そして、高学年になるにつれて、できた日数がだんだん減っていきます。やはり、「お年頃」ということだと思います。それでも、半数以上のご家庭で毎日できており、「親子で抵抗があったので、兄弟姉妹と行った」等、各ご家庭のスタイルに合う形を見つけて下さっていました。

児童の感想、保護者の感想で、特に印象に残ったものは以下の通りです。

【児童】
・お父さんともできた。お父さんのギューは強かった。
・お母さんにハグしてもらえるのが、ひさしぶりでうれしかったです。

【保護者】
・ハイタッチは気分が上がり、1日の始まりにぴったりでした。
・(子どもが大きくなったなと感じました。

ハグ＆ハイタッチを夏休み限定ではなく続けていらっしゃるご家庭もあります。これを機会に、家族でのコミュニケーションを考えてみてはいかがでしょうか？
ご協力本当にありがとうございました。

夏休み後、出来た日数ごとに集計して、保護者へ配付しました。

感想から

【児童】
・お父さんともできた。お父さんのギューは強かった。
・お母さんにハグしてもらえるのが、ひさしぶりでうれしかった。
・お母さんだけじゃなく、姉妹でもできてよかった。
・毎日できて、家族の思いやりが深まったと思った。

【保護者】
・ハイタッチは気分が上がり、一日の始まりにぴったりでした。
・子どもが大きくなったなと感じました。
・寝る前にハグをすることが習慣になってよかったです。
・これからもずっと続けていきたいです。大人も子どもも、心が落ちつきます。

【このよさを学びたい！】
・「ハグかハイタッチをする。」「家族の誰でもいい。」「取組表の日にちの数字に色をぬっていく。」という、取組内容がとても分かりやすく、親子で負担なく取り組むことができたこと。
・「寝る前の習慣」「一日の始まり」等、各家庭で、生活のスタイルに合わせた方法を見つけて、取り組んだこと。
・「これからも続けていきたい。」という感想にあるように、夏休みの取組が、毎日の取組にひろがって、家族のコミュニケーションを深めることができること。

中津川市苗木公民館　子育てサロン型
乳幼児学級ぴっころ開級式

日　時　令和2年10月19日（月）　10:00～11:30
参加者　乳幼児の親子7組

親子で楽しみながら親が学ぶことの大切さを考える乳幼児期家庭教育学級開級式

苗木乳幼児学級では、コロナ禍のため延期になっていた開級式が、10月に開催され、はじめて顔を合わせた7組の親子が、自己紹介をして、乳幼児学級がスタートしました。大型絵本の読み聞かせや手遊びを、親子で楽しみ、お母さん向けの子育ての講話中は、子ども達はおもちゃで遊んで、上手に過ごすことができました。今年度の乳幼児学級は、3回の予定でしたが、お母さん達の希望で、毎月の開催になりました。乳幼児学級を通して、お母さん達の和が広がっていきます。



大型絵本の読み聞かせを、子ども達は興味をもって聞きました。



子育て講話の間、子ども達は、お母さんに見守られながら遊んでいました。

内　容

進行：苗木公民館 乳幼児学級担当　石原　美保子さん
- ・乳幼児学級についての話
- ・自己紹介：お母さんと子どもの名前、住んでいるところ、出身地　等
- ・読み聞かせ：「はじめまして」「とんとんとんとんひげじいさん」他
- ・手遊び：「バスにのって」「ぶらんこ」他

子育て講話：家庭教育推進専門職　奥村　多美子
- ・親になるってどういうこと？
- ・スキンシップの大切さ
- ・子どもの心の育て方
- ・イヤイヤ期を乗り越えるには
- ・スマホ育児って知っていますか？



【このよさを学びたい！】
- ・一人目のお子さんで初めて参加した方、苗木地区に住むようになって初めて参加した方、昨年度に引き続き2回目の参加の方、二人目三人目のお母さん等、いろいろな立場からの交流ができること。
- ・自己紹介では、乳幼児学級を通して、交流したい、学びたい、友だちになりたいという思いが語られ、これから毎月開催するという計画を、お母さん達の希望で決めていくことができたこと。
- ・あいさつは、お母さんがやることで子どもができるようになること、スキンシップがとても大切であること等、子育てのポイントを学ぶことができたこと。

岐阜県家庭教育支援条例第2条には、保護者が子どもに対して教え育む9つの事項があります。
9つの事項を考えながら、保護者の願いに合わせて、家庭教育学級の内容を決めていくといいですね。

